

「修学旅行」

小学部の修学旅行が、6月18日(水)～6月20日(金)の2泊3日の日程で行われました。行き先は、大沼公園と函館です。

修学旅行は、これまでもたくさん引率してきましたが、どの修学旅行でも記憶に残る良い思い出となっています。子どもたちにとって修学旅行は、学校生活の中での一大イベントの一つとっていいでしょうし、成長してからもその思い出は刻まれるものに違いありません。

今回の修学旅行は、県内の聾学校3校（青森聾学校、八戸聾学校そして本校）がほぼ同一日程を組んで行動しました。事前学習では、オンラインを活用して、3校で話し合い活動をしました。そのおかげもあって、当日はみんな仲良く、行動することができました。

今回の修学旅行の目的は以下の4つです。

- (1) 函館方面の旅行体験を通して、経験を積み見聞を広める。
- (2) 商業施設や公共施設の利用を通して、決まりや社会生活上のルールを知るとともに、訪問先の方々とのやりとりの経験を広げる。
- (3) 集団生活や事前事後学習を通して、協力し合い、責任感をもって行動する。
- (4) 聾学校に在籍する児童との交流を通して、自分の考えを話したり、相手の発言を受けて質問したりするなどのやりとりの経験を広げる。

修学旅行引率にあたり、できるだけ子どもたちの様子を見守ることにしました。自主見学の場面を紹介します。

1 市電の五稜郭公園前で下車し、五稜郭タワーに行く時の様子です。

どの道を歩いて行けば良いのか、3校の子どもたちは地図を片手に、周囲の様子を見ながら、意見交換していました。大通りを進み、信号を渡ったところで、「右の道に進めばいいのでは」との意見が出て、話し合った結果、その意見通りに進むことになりました。実はその道は少し遠回りになる道でした。少し進むと、道が分かれ、どちらに行くのかまた相談です。今度は道なりにまっすぐ行きました。幸いなことに、目指すのは五稜郭タワーでしたので、脇道にそれても、建物の間からその姿が見えます。そのため、子どもたちは、少し回り道をしましたが、目的の五稜郭タワーに行くことができました。



2 函館の夜景鑑賞の様子です。

ものすごい観光客で、なかなか一番前で見ることはできません。しばらく待って、本校の子どもたちがその場所にたどり着き、自分たちが見た後に「おいで」と行ってその場所に他校の友だちを呼んで、一緒に夜景を見る様子がありました。

3日間、子どもたちとずっと一緒に過ごしました。社会生活をしていく上で必要となることなど、修学旅行を通じて肌で感じ、体験し、できた喜びや達成感がそこにありました。どのようにしたらいいのかとちょっと不安になったとき、係の人に聞いてみると優しく教えてもらえた経験がありました。修学旅行で体験したすべてが、今後社会に出たときの基礎基本になることでしょう。そのような場に校長として一緒に参加することができたことは、子どもたちの成長を間近で感じ、しあわせな時でありました。